

## ▼ナトリックス錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 インダパミド (U) indapamide 【分類】 持続型非チアジド系降圧剤

【単位】 ▼1mg・▼2mg/錠

【常用量】 2mg/日 [少量から開始して増量]

【用法】 1日1回朝食後

【透析患者への投与方法】 無尿の患者には禁忌 (1)

【その他の報告】 1.25～2.5mg/日であるがデータが限られている (17)

【PD】 データがなく、効果が限定的であるため避ける (17)

【CRRT】 避ける (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 重篤な腎障害患者には腎機能がさらに悪化するおそれがあり慎重投与 (1)

【その他の報告】 GFR>50mL/min : 2.5mg/日, GFR 10～50mL/min : 1.25～2.5mg/日, GFR 10mL/min 未満 : 1.25～2.5mg/日であるがデータが限られている (17)

【特徴】 降圧利尿剤で、利尿作用は比較的弱く持続的。

【主な副作用・毒性】 SJS, TEN, 低K血症, 低Na血症, 低クロール性アルカローシス, 高尿酸血症, 高血糖, TG上昇, 高Ca血症, BUN上昇, Cre上昇, 白血球減少, 血小板減少, 消化器症状, めまい, 眠気, 立ちくらみなど

【モニターすべき項目】 血清電解質, 血圧

【tmax】 1.7hr (1) 2hr 以内 (U) 【Cmax】 5mg 経口で 260ng/mL (U)

【代謝】 主要代謝物は5-OH 体と 4-chloro-3-sulfamoylbenzoic acid (CSBA) で、5-OH 体はグルクロン酸抱合されて排泄される (1) 肝代謝される (U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 6% [po, 96hr まで] (1) 5～7% (U) 尿中回収率 60～70%, 糞中回収率 20～23% (U)

【CL】 26mL/min (1)

【t1/2】 13～18hr (1) 14hr (U) 生物学的半減期は 26hr (U)

【蛋白結合率】 83% (1) 71～79% (U)

【Vd】 15.6L/man (1)

【MW】 365.83

【透析性】 資料なし (1)

【OW 係数】 25.2 [1-オクタノール水系, pH7.0 以下] (1) 【pKa】 8.8

【相互作用】 中枢抑制剤 : 立ちくらみの増強 (1) ジギタリス : 低K血症に注意 (1) リチウムの毒性増強 (1)

【効果発現時間】 降圧効果として 1～2 週間 (U)

【更新日】 20151201

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。